

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立成瀬小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 言葉について理解し、様々な働きがあることを理解している。 資料の中で、中心となる語や文を見つけて、内容を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から正しい情報を得て、要約された文を適切に選択する。 話し手が伝えたいことや聞きたいことの内容を読み取る。 与えられた情報から、自分の考えを条件に合わせてまとめる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、知りたい数を求めることができる。 図形の性質や意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の説明から問題の意味を理解し、必要な情報を選択して答えを導くこと。 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係について正しく理解する。 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりする。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 朝食を毎日しっかり食べて、決まった時刻に起床するなど、基本的な生活習慣が身についている。 先生から認められ、支援を手厚く受けていると感じている児童が多い。 人が困っているときは、優しく接しようと思がけている。 幸せを感じている児童の割合が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語科の学習の重要性を理解しているが、好きでない児童が多いこと。 伝え合うことや関わり合うことについて前向きとはいえないこと。 読書や新聞を読むなど、活字に親しむことに対して後ろ向きな児童が多いこと。 外国語への関心は高いが、将来に活かそうとは考えていない児童が多いこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の大切さを理解している児童が多いが、好んで学習している児童が少ないことがこの結果から見る事ができた。子どもたちが興味・関心を高めて前向きに学習に取り組んでいけるよう、授業改善を進めていく。 文章や資料を読んで、その内容を理解したり、まとめたりすることに課題が見られた。文章に接する機会を増やしたり、機会あるごとに資料を提示したりして、その理解が深まっていくよう促していく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形の学習や複雑な計算に課題が見られた。児童が捉えやすい具体的な場面を提示するなど、分かりやすい授業を展開していきたい。 資料の内容を理解し、問題を解くことについて、難しく感じている児童が多かった。普段の授業の中で、資料から必要な情報を取捨選択する機会を多く設定していきたい。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>学校へ楽しく登校できるために、子どもたちを日々支えていただき、誠にありがとうございます。</p> <p>1. 活字に親しむ機会を</p> <p>スマートフォンなど電子機器の普及により、活字離れが叫ばれているところです。成瀬小学校の児童においても例外ではなく、国語の学習の必要性を理解しつつも、スマートフォンやタブレットに興味が多く注がれ、読書や新聞などを読む機会が減っている状況です。活字に触れることは語彙を広げることになり、日本語の表現の豊かさを味わうために重要です。ご家庭でも、お互いに読書に親しみ、感想を伝え合う機会を設けていただくとありがたいと思います。</p> <p>2. 学習に前向きに取り組めるように</p> <p>学習の重要性を理解している児童が多く、私たち教職員も嬉しく思います。しかし、学習に取り組む姿勢については課題もあります。国語や算数、外国語の学習は、将来のために必要と考えてはいるものの、勉強が好きと答えている児童の割合は決して高いとはいえない状況です。日頃の授業において、学習する楽しさを実感できるようにするため、今後も授業改善に取り組んでいきたいと考えています。</p>
--